

見てみよう、聞いてみよう ひら 未来を拓く福祉のしごと



この冊子はこのような場面でご活用できます

- 中学生などの「職場体験」の事前・事後学習に
- 「福祉の体験学習」の場面で
- 「福祉」のしごとで働く方の姿を知りたいときに



冊子と連動した
特設サイトは
こちらから



目次

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| ・「福祉」という言葉からなにをイメージしますか?..... 2 | ・職場での1日..... 12 |
| ・あなた自身を知ることから始めよう!..... 3 | ・どうやって学んで、どんな仕事に就こう?..... 16 |
| ・福祉の仕事で活躍する方の声を聞かせてください..... 4 | ・みなさんにも今からできることがあるよ/相談してみよう..... 18 |



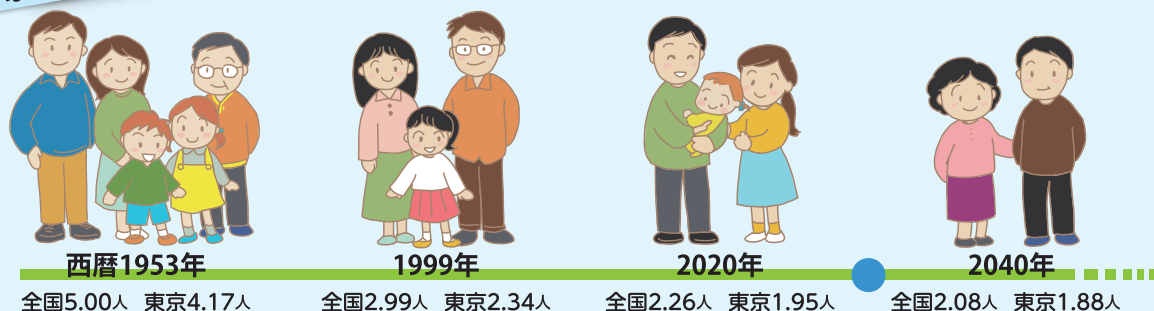
社会福祉法人
東京都社会福祉協議会

「福祉」という言葉からなにをイメージしますか？

お年寄りや子育て中の方、障害のある方、経済的に不安のある方など、何かに困っている方たちの手助けをすることというイメージがあるかもしれません。しかし、「福祉」はそれだけではなく、みんなが「幸せ」に生活できるようにする取り組みやしきみのことを言います。例えば、介護や保育、生活を支援する制度やサービスのほか、ボランティア活動、町会や自治会の地域活動なども広い意味で「福祉」と言え、さまざまな人が多様な方法で「福祉」に関わっています。



知ってる？ 家族の人数変化(平均)



みなさんが大人になる頃、家族の人数は2人以下になっていく計算です。これまで家族同士で助けあってやっていたことが出来なくなるため、住んでいる町や提供されるサービスで暮らしを支えていくことになると予想されます。「福祉」の仕事や、幸せに生活するための取り組みはこれからますます必要になってきます。

✓ あなた自身を知るところから始めよう！

自分自身を知することは将来、しごとを考えるときに大切になるよ。この冊子を読んだり職場体験に行くなどで、福祉のしごとに触れる前(before)と後(after)で比べてみよう。どう変わっているかな？ 新しい発見につながるかもしれないね。



1 あなたの長所や強み、得意なものなどを書き出してみよう。

例) ・明るく元気。・友達が悩んでいたりとすぐに気づく。・何事もコツコツと取り組むことができる。

before

after



次はしごとについて考えてみよう。あなたの気持ちにあてはまる数字を□に書いてみよう。
4: とても思う 3: やや思う 2: あまり思わない 1: 思わない

2

将来就きたい仕事を選ぶときに大切にしたいポイントは何ですか？

- ・いろいろな人と関わることができる仕事であること before ☐ after ☐
- ・同じ職場で長く働けること before ☐ after ☐
- ・人の役に立つ仕事であること before ☐ after ☐
- ・専門的な技術や知識が必要な仕事であること before ☐ after ☐
- ・新しいものを作っていける仕事であること before ☐ after ☐
- ・好きなことや興味のあることに関連した仕事であること before ☐ after ☐

3

「福祉」の仕事にはどんなイメージがありますか？

- ・人の役に立つ、「ありがとう」と言われる仕事 before ☐ after ☐
- ・これからの社会に必要な仕事 before ☐ after ☐
- ・大変だけどやりがいがある仕事 before ☐ after ☐
- ・いろいろな人と関わることができる仕事 before ☐ after ☐
- ・人を支えるプロの仕事 before ☐ after ☐

4

「福祉」の仕事をするときに大切だと思うことは？

- ・周りの人とのコミュニケーションをとること before ☐ after ☐
- ・相手の立場に立って、気持ちや考え方を理解すること before ☐ after ☐
- ・目標や目的を持って行動すること before ☐ after ☐
- ・専門的な技術や知識を身につけること before ☐ after ☐
- ・自分の得意なことを積極的に活かすこと before ☐ after ☐

次のページから、福祉の仕事に就く4人の声を聞いてみよう！



杉田 紀和子です。
社会福祉法人康和会
特別養護老人ホーム
久我山園に勤務して
14年になります。

今後も必要とされる介護分野の仕事。人生の先輩 たちを敬いながら支えます。

Q
1

どのような仕事をしていますか。

A 私は介護が必要な高齢者が入所する、特別養護老人ホームの「生活相談員」です。利用者のご家族からの相談を受け、入所中の生活でどのような介護をしていくか、その方のことを考え、計画を立てたり、関係機関との調整といった、入所前から退所後まで携わることができる仕事をしています。今は育児休業明けで、介護の業務をメインに行っています。

Q
2

この仕事に就こうと思ったきっかけを教えてください。

A 私は幼稚園の頃から、将来は保育士になりたいと思っていました。中学校での職場体験は、保育園と特別養護老人ホームの両方の現場を体験しました。そこで「社会福祉」という言葉を知り、保育士の仕事はその一部だと知りました。そして、社会福祉を学ぶため大学へ進学し「児童福祉」を勉強していましたが、何十年先には世の中に介護の必要な方が増えることを知り、今後も必要とされる仕事として「介護の仕事を考えてみようかな」と思ったことがきっかけです。介護も保育と同じで、人と関わり、誰かの役に立てる仕事です。



自然な会話の中で、一人ひとりの体調や変化、気持ちを聞き取り、具体的な対応につなげます。

Q
3

仕事でやりがいを感じる時は？

A 利用者から「ここは楽しいところ」と言っていただけることです。ご本人からの言葉はもちろん、そのご家族からも「母の表情がすごく明るくなった」と言ってもらえると嬉しいです。介護の現場では、利用者の笑顔が増えるなどの変化に直接ふれることができるので、それがやりがいにつながっています。

Q
4

大変なことや難しいと思うことはありますか？

A 体格の大きな男性をベッドから車椅子にさせたり、車椅子からベッドへ移動する介助をすることです。1人では難しい時は2人で介助するときもあります。ですが、サポート用の機器も開発されているので、10年以上前と比べると身体への負担は減ったと思います。私が勤めている久我山園でも機器を導入しています。今後もさまざまな機器が開発され、介護の現場で導入・活用されていくと思います。

Q
5

心に残ったエピソードを聞かせてください。

A 介護の仕事は、「感謝される仕事」「ありがたうを聞ける仕事」とよく言われ、それは間違いありません。しかし、「感謝」は強要でも、言ってもらうのが当たり前ではなくご本人のお気持ちです。人生の最期の時を迎えた方から「あなたには本当にお世話になりました。ありがとうございました」と言っていたことがあり、私はその時、「ありがたう」の言葉の重みを感じました。いまだに忘れられません。自分自身を振り返って、私は中学生の頃、心を込めて「ありがたう」と言えていませんでした。皆さん、「ありがたう」という言葉を周りの方に言えていますか？

Q
6

仕事をする上で大切にしていることはありますか？

A 利用者の方は人生の先輩であるということを絶対に忘れないということです。親しく接することがいけないということではありませんが、きちんとその方を敬った上で接することがとても大切だと思います。

Q
7

中学生やこの冊子を読む方たちにメッセージをお願いします。

A 最近、周りの人に「将来の夢なんだった？」と聞いてみるのですが、「その夢を叶えるのって大変だね」「叶えた人はそんなにいないね」という話になります。やはり自分の夢をしっかり持つことはとても大切だと感じます。この仕事は、人が好きという方はとても向いていると思います。人が好き、人の役に立ちたい、と思う人はこの仕事にぜひ興味を持ってもらいたいと思います。



レクリエーションの時間には、利用者が積極的に体を動かし、楽しく安全に過ごせるよう気を配ります。



障害のある方の気持ちや体調に気を配る。さまざまな経験が活かされます。

Q
1

働いている障害者支援施設はどのような施設ですか？

A 私が働いている施設は、知的障害のある方が入所する施設です。子どもからご高齢の方までが入所していて、利用者はここから学校へ通ったり、箱の組み立てなど簡単な仕事をしながら過ごす生活の場です。また同じ法人の中には重度の心身障害のある方が日中通う通所施設や、軽度の知的障害のある方が暮らすグループホームなどもあり、障害の度合いなどで利用する施設や利用方法が異なります。

Q
2

生活支援員はどのような仕事ですか？

A 利用者が穏やかで楽しく生活できるよう支援する仕事です。利用者と一緒に行動し、食事をするときやお風呂に入るときなどの生活上で支援が必要なことがあればお手伝いをします。体調に不安のある方へは見守りをしながら変化がないか気を付けます。言葉を発することのできない方もいるので、困っていることがないか様子を見て、本人の気持ちや体調を感じ取ります。

障害者支援施設の生活支援員



利用者一人ひとりに声かけしながら食事を配ります。

Q
3

障害者支援施設で働こうと思ったきっかけを教えてください。

A 私は、以前はCDショップで世界各地の音楽を紹介する仕事をしていました。その後、ほかの仕事も経験しました。ある時、特別支援学校の生徒が描いた絵葉書を見る機会があり、それがとてもカッコ良くて感性がすごいと思ったことがこの仕事に就こうと思った最初のきっかけです。啓光学園で働きはじめてから勉強し、「社会福祉士」の国家資格をとりました。

Q
4

利用者の「強み、パワー」を感じることはありますか？

A 私は優柔不断で、自動販売機で飲み物を買う時にも、どれを買うかいつも悩んでから買っています。利用者の中には「これを飲む」「これは飲みたくない」といった判断が早くてはっきりしている方もいて、その決断力はすごいと思います。人それぞれ性格や癖、考え方が違うのは障害のある無しに関わらずみんな同じです。

Q
5

仕事をする上で難しいと感じることはありますか？

A 言葉を発することのできない方が、今何を考え、何を望んでいるのかを見極めることです。本人の意図や真意を読み違えて間違った判断をしたり、感じ取ったことが本人の意向と違うことがないように、言葉だけでなく、身振り手振りを交えてコミュニケーションを取るようにしています。ベテランの先輩職員からアドバイスを受け、工夫しながらやっています。

Q
6

この仕事に就いてよかったと思うことはありますか？

A 自分のこれまでの経験を活かし、利用者にとって良いと思う取組みなど、自分の考えをすぐに試せる仕事だということです。また会社勤めの仕事によくあるノルマ達成を急かされるようなことはなく、楽しく仕事ができています。

Q
7

中学生やこの冊子を読む方たちにメッセージをお願いします。

A 私は中学生の頃、将来福祉の仕事をするとは思っていませんでした。高校、大学と進み、社会人になった後はいろいろな仕事を経験してから福祉の仕事に就きました。すでに夢や目標を定めている人がいればそれはとても素晴らしいことです。でも、まだ決めていなくても焦る必要はありません。いろんな経験をした後でも、福祉の仕事でその経験を活かしてもらえることができると思います。



洗濯物を各部屋に運びます。こうした生活に関わる作業も、利用者の生活を支えるための大切な仕事です。



長井 基樹です。
社会福祉法人
啓光福祉会 啓光学園で
生活支援員の
仕事を8年間やって
います。



澤田 広美です。
社会福祉法人 聡香会
きたいは保育園に
10年間勤めています。

子どもの気持ち、やりたいことを大切に。自分も子どもも成長を感じられる魅力があります。

Q
1

保育士になろうと思ったきっかけを教えてください。

A 私が小学生の頃、歳が10歳離れているおいの、保育園のお迎えを手伝っていました。そこで働く保育士さんの姿がとても輝いて見え「大人になったら絶対この仕事をしたい」と思ったのがきっかけです。

中学生の時には、学校の先生のアドバイスを受けながら自分で進路を調べ、保育系の高校に進学しました。そして保育士の資格がとれる短期大学を目指しました。今思い返しても保育士以外の選択肢は考えていませんでした。

Q
2

何才のクラスを担当していますか？

A 現在は3、4、5才児が通う幼児クラスを担当しています。私の働く保育園では、縦割り保育を実施しています。異年齢の子どもたちがお互いへの関わり方などを自然と学べるように、同じクラスで過ごしています。入職1年目には、乳児クラスを担当していたこともあります。



子どもと接するときは、その子の目線に合わせます。

Q
3

心に残ったエピソードを聞かせてください。

A 保育士になって1年目は、子どもたちへの接し方がわかりませんでした。学校で知識は教わったものの、そこを子どもたちに見抜かれていたと思います。

そこで、30年の経験を持つ先輩保育士の方の子どもへの声かけの仕方や、子どもに対する姿勢を参考にしました。アドバイスを受け、「無理に距離をつめようとせず、子どもが求めてきた時に接していく」という方法を実践しました。すぐには上手くいきませんでしたが「いつかは慣れてくれるだろう」という気持ちを持ち続けて働いていると、自然と子どもたちと接することができるようになりました。

そして子どもたちが少しずつ私のことを受け入れてくれるようになり、私の名前を呼んで「一緒に遊ぼう」と言ってくれるようになったことが一番印象に残っています。

Q
4

保護者の方へのサポートで心がけていることはありますか？

A 保護者の方は私よりも年上の方が多いので、言葉遣いには一番気をつけています。保護者の方から、悩みなどを何でも話してもらえる関係や環境を作るように心がけています。保育の専門知識を活かして保護者の方をサポートしたいです。

Q
5

仕事をする上で大切にしていることはありますか？

A やはり子どもの気持ちを一番大事にするということです。これは1年目からずっと先輩にも言われていたことです。私は保育士になって10年目ですが、いつも忘れないように仕事をしています。その上で、子どもは一人ひとり性格も違いますし、その日の気分によって機嫌も変わるので、毎日接しながら顔の表情や体調の変化に注意を払います。また、子どもがやりたいと思うことをやらせてあげながら、やっていいことと、危険なことや命に関わるようなことなどのやってはいけないことの区別をきちんと教えます。

Q
6

保育士の仕事の魅力を教えてください。

A 子どもたちを小さい時から見ているので、毎日だんだんと成長を実感できることがとても魅力的だと思います。そこが保育士になってとても良かったと思うところです。
卒園したあとも子どもたちが学校の帰りに寄ってくれたり、園児との散歩中に話しかけてくれたりするのはうれしいです。

Q
7

中学生やこの冊子を読む方たちにメッセージをお願いします。

A 私は小学校の頃から保育士になりたいという夢を持って今まで過ごしてきました。保育を学ぶ学校は勉強しなければいけないことがとても多く、乗り越えられるかとても心配でした。でも保育士になってから思うことは、勉強を頑張って良かったということです。
冊子を読んでいるみなさんも、ぜひ頑張って、素敵な保育士になっていただけたらとても嬉しいです。



読み聞かせでは、絵本が子どもたちに見えるように持つ高さにも気を配ります。子どもたちはお気に入りの絵本にくぎづけです。

早川 穂乃香です。
社会福祉法人 葛飾区
社会福祉協議会に
勤めて2年目に
なります。

地域で暮らす方の想いを受け止めて一緒に考える。 自分も学びながら成長します。

Q
1

社会福祉協議会(以下、社協)の仕事を選んだきっかけを教えてください。

A 子どもの頃は祖父母と同居していました。近所の人がおすそ分けに食べ物を持ってきてくれるなど、住民同士が自然に関わることがあたりまえという地域で過ごしていました。私自身、地域に育てられたと思っています。
中学校の職場体験では特別養護老人ホームへ行きました。その経験から、人が生活する場や環境を作ることがまず初めに大事だということを感じました。その後大学で福祉を学び、社協は住民が中心となったまちづくりに関わることができる仕事だと知ったことがきっかけで、この仕事に就きました。

Q
2

社協ではどんな仕事をしていますか？

A 社協は皆さんがお住まいの各区市町村にあります。社協では地域の課題解決に取り組み、住民の皆さんが支えあったりつながることができるきっかけづくりや、地域をより良くしていくための活動を支援しています。
社協のさまざまな事業を通して、住民の方の「何かしたい」という想いに寄り添い、共感し、想いを引き出して、一緒に考えながら進めていくのが役割です。ひとことで言うと「まちづくりのお手伝い」と言えます。
私は今、高齢者の方が行うボランティア活動や、地域の中の活動支援、居場所づくりなどの事業を担当しています。



住民の方とボランティア活動について考える講座を開き、参加者の想いや考えを引き出します。

Q
3

心に残ったエピソードを聞かせてください。

A ボランティア活動をしている方から、絵手紙をいただいたことがあります。そこには、「あなたの成長を楽しみにしています」というコメントと一緒に、「いつもありがとう」と書かれていました。自分が関わった住民の方からお手紙をいただいたというのがすごく励みになりました。

Q
4

仕事をする上で難しいと思うことはありますか？

A 最初に感じた壁は、地域の住民の皆さんとの良い関係の築き方です。住民の方の実現したいことを引き出して、サポートしていく仕事なので、関わり方や接し方が大切であり、そこが難しいところでもあります。
また、就職して分かったことですが、社協の存在が住民の方に知られていないと感じます。住民の方から「社協って何?」と聞かれることも多く、社協の役割を皆さんに伝える難しさということも感じています。

Q
5

仕事をする上で大切にしていることはありますか？

A 関わる住民がどんな方であってもひとりの人として対応し、その方の想いをしっかり受け止めること、そして常に学ぶ姿勢を持つことを大切にしています。
「福祉」というと、「助けてあげる」という上から目線のようなイメージを時に持たれます。ですが、そうならないように職員としていつも気をつけています。生活する上で困っている方だけでなく、困りごとに気づいていない方に対しても、その方の想いを受け止めて一緒に考えていけるような存在になれたらと思っています。まず否定はせずにその方の話を聞き、十分に理解した上で、その方の立場も尊重した上で、解決に向けて考えるよう心がけています。そして、関わる住民の多くは人生の先輩方なので、常にその先輩方から学ぶ気持ちを忘れずにいます。

Q
6

仕事の魅力はなんですか？

A 住民の方の想いに寄り添い、「やりたいこと」が実現でき、その方の生活が充実していくことのお手伝いをできることがこの仕事の魅力だと思います。

Q
7

中学生やこの冊子を読む方たちにメッセージをお願いします。

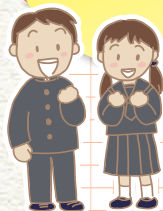
A 福祉の仕事は大変というイメージを持つ方もいるかと思いますが、私もそう思うこともあります。でも、それ以上に楽しいことや嬉しいこと、新しい発見もあります。自分自身が成長できる仕事でもあります。
社協の仕事は、人と関わるのが好きだったり、誰かの役に立ちたいという想いを抱えている人に向いている仕事です。
職場体験などで社協に来る機会があったら、社協の仕事の良いところをたくさんを見つけていただけたら嬉しいです。そして、未来の自分にはどんなことができるのかをぜひ考えてみてください。
将来、皆さんと一緒に、福祉のお仕事ができる時が来たらすごく嬉しいです。



みなさんのインタビュー
の動画は、こちらの特設
サイトでも見られます。



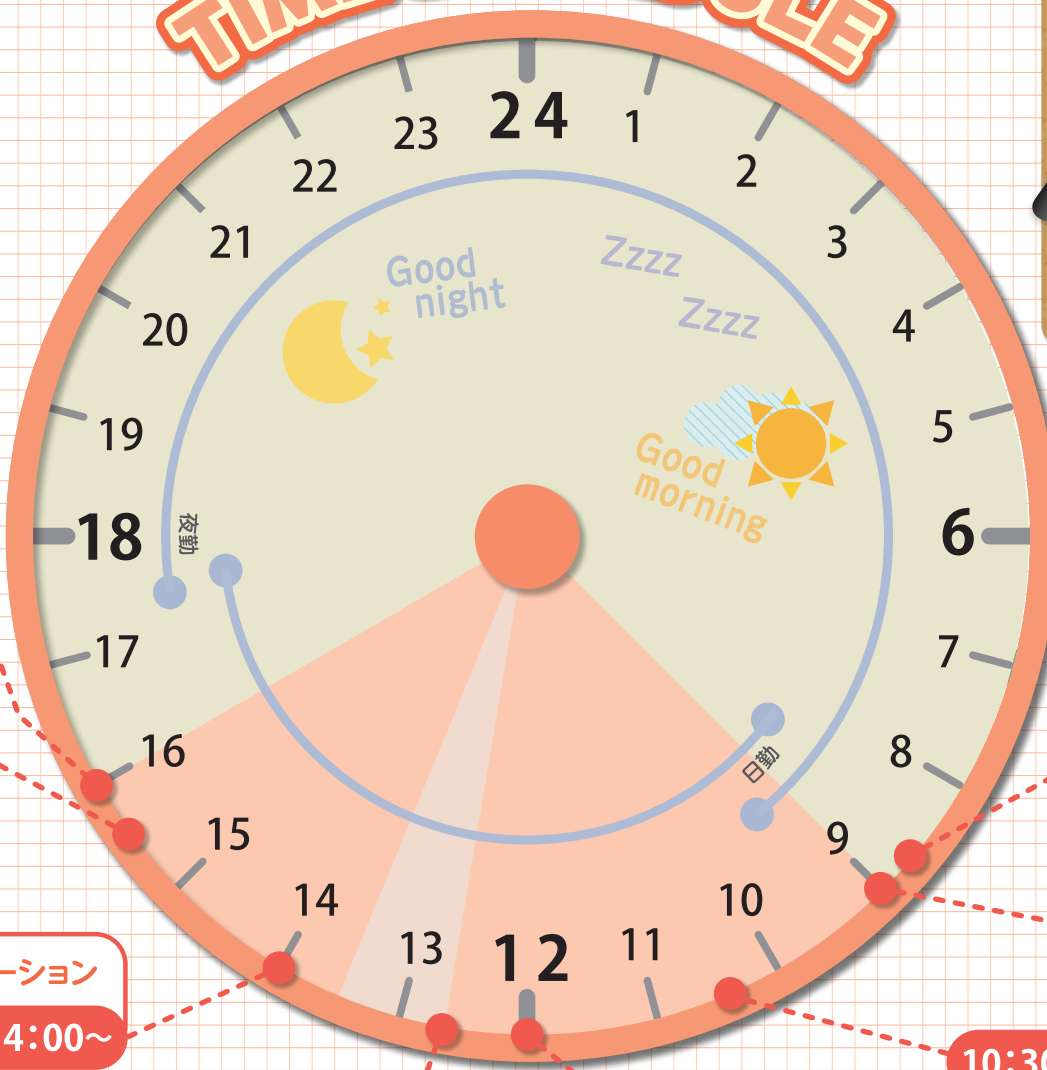
教えて、先輩!



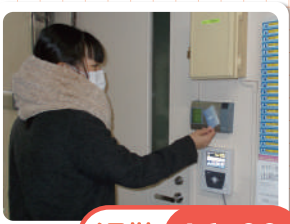
高齢者支援施設 杉田 紀和子さんの 職場での1日 (時短勤務の場合)

1 day

TIME SCHEDULE



タイムカードを押して、今日の勤務は終わりです。
1日お疲れ様でした。



退勤 16:00

夜勤の職員への引き継ぎ事項など1日の報告をまとめます。



業務報告作成 15:30~

午後は利用者とレクリエーションをして過ごします。ここでの会話も体調変化などに気づく重要な仕事です。おやつの際にも介助をします。

レクリエーション おやつ 14:00~



実際にしごとをしている先輩の話を聞くと、職場での1日が気になりますよね。ある日の1日を覗かせてもらいました。



天気の良い日に屋上で食べるランチはきもち良いです。



昼休み 12:45~



12:00~ 利用者の昼食介助

1人ひとりに合わせ形態を工夫した食事を口や飲みこみの状態にも気を配って介助します。



10:30~ 利用者の入浴介助

他の職員と役割分担し協力して介助をします。



前日や夜間の利用者の状態や今日の予定を他の職員と共有し、1日の仕事に活かします。

9:00 朝礼

感染症対策のため、出勤後すぐに検温します。



~9:00 出勤

1日を支えるため、日勤や夜勤の職員が交代で働いているんだね。

現在は育児休業明けで、時短勤務をしているため9:00までに出勤します。

MEMO

利用者の状態をしっかり確認し、効果的に介護できるように、センサーやタブレットなどのさまざまなICT機器の導入が進んでいます。特に、日中よりも職員数が少ない夜勤帯は、これらの機器が活躍します。



A cartoon illustration of a young boy and girl. The boy on the left is wearing a dark blue traditional Chinese jacket with yellow buttons and dark pants. The girl on the right is wearing a dark blue traditional Chinese dress with yellow trim and a yellow sash. Both are smiling and have their hands clasped in front of them. They are standing on a light green grid background.

1 day

A woman and a man are seated at a table, separated by a clear glass barrier. The woman, on the left, is wearing a grey top and has her hands near her face. The man, on the right, is wearing a dark jacket and is eating from a bowl with a spoon. A white container with a pattern is on the table near the woman. The background shows a window with blinds.

MEMO



14

どうやって学んで、どんな仕事に就こう？

Check!

福祉をもっと勉強して仕事にしたいと思ったら、どんな道を進むか考えてみてくださいね。
 学校で福祉を学んで福祉の仕事に就く人が多いですが、他の仕事をしてから、福祉の仕事に就く人も増えています。仕事の領域は多様で、ここに載っていない資格やたくさんの職種があります。福祉施設などの種類もさまざまです。

専門教科として「福祉」を学べる
福祉系の高校もあるよ。

中学校

高等学校

福祉系

短期大学

大学

専門学校

企業

行政

ボランティア
団体など

社会福祉
協議会

地域福祉

・住民同士や団体がつながり、
支え合う地域づくりのサポート

障害者
福祉施設・
事業所

高齢者
福祉施設・
事業所

障害者福祉

・日常生活や社会参加
(余暇・就労)へのサポート
・本人や家族の意思決定を
支える相談 など

くらしを支える
福祉の仕事の
イメージ図

高齢者福祉

・食事やトイレなどの日常生活や、
リハビリのサポート
・日常の困りごとなどの相談 など

子育て
支援施設や
児童養護
施設など

保育所

児童福祉

・子どもの健全な成長を支えるサポート
・子どもたちや家庭が抱えるさまざまな
生活上の困難を解決や支援 など

病院

教育機関

就きたいしごとや
働きたい業種に必要な
資格の取得につながる専攻も
選べるよ。

各種資格

例えば ●社会福祉士 ●介護福祉士
●保育士 ●理学療法士
●作業療法士 ●管理栄養士
など…

福祉のしごとの範囲はとても広く、
いろいろな形での関わり方があるね。
興味や関心のある分野、やりたいことを
「働く」イメージにあわせて調べてみてね。

みなさんにも今からできることがあるよ

Check!

みなさんが福祉の仕事に就くのがもう少し先だとしても、今からでもできることはいろいろあります。まず、自分の得意なことや好きなこと、興味のあることから始めて「福祉」について考えてみましょう。

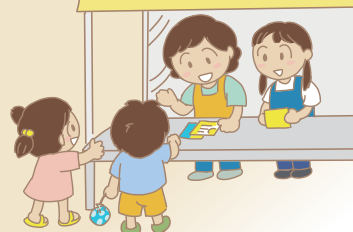
福祉施設

レクの手伝い、利用者さんとの交流



地域

町会・自治会、子ども会、
地域のおまつりなどに参加



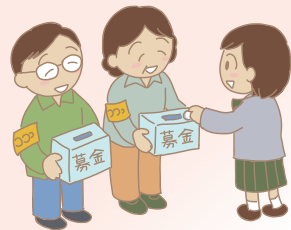
環境・自然

ゴミ拾い、地区清掃活動に参加



寄付・募金

共同募金や日本赤十字社、
福祉活動をしている団体などへ募金



国際理解・協力

地域に住む外国の方との交流



相談してみよう

Check!

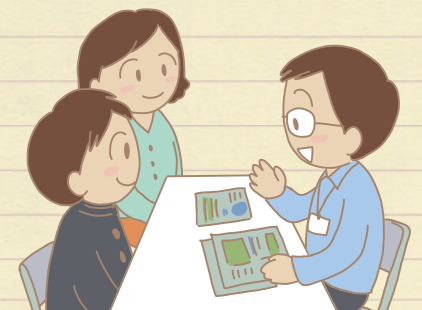
やってみたいと思う活動はあるけれどどうしていいかわからないときは、まず、相談できるところに聞いてみましょう。どんな活動があるのか知ることができます。情報を集めてから決めてもいいですね。

地域のボランティアセンターに相談する

ボランティア活動の相談をしたり情報を集めることができます。「夏の体験ボランティア」なども行っていますのでぜひ参加してみてください。
東京では、東京ボランティア・市民活動センターのホームページから都内のボランティアセンターを探すことができます。
全国のいろいろな地域にあるので、あなたの身近な地域のボランティアセンターに相談してみましょう。

東京都内のセンターを調べる時は…
「東京ボランティア・市民活動センター」

<https://www.tvac.or.jp>



直接、施設や団体に相談する

施設や活動団体のホームページに、ボランティアの募集などの情報が掲載されていることがあります。
また、実際に職場体験やボランティア体験に行った施設や団体に、活動を継続したいことを相談してもいいですね。

今からできることがいろいろあるんだね!



自分が「福祉」について思ったことや、これからやってみようと思うことを書いてみよう。



福祉のしごくに触れてみて、
少しでもワクワクを感じたり興味が湧いたなら、
できることから始めてみてください。
あなたの未来はそこから始まります。



私たちが中学生に伝えたい福祉の魅力

～福祉施設における中学生の職場体験 受入れハンドブック～

職場体験を受け入れる福祉施設・事業所向けの冊子です。
ホームページでは、冊子内に掲載している、受入れの際に使用できるツールや
解説方法を動画でも紹介しています。合わせてご覧ください。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/youth/tsutaetai/03.html>



本冊子は、東京都社会福祉協議会「福祉の魅力可視化プロジェクト」にて作成しました。

<令和2年度 福祉の魅力可視化プロジェクト委員>

田園調布学園大学 人間福祉学部長 教授
(社福)南山会 特別養護老人ホーム「喜多見ホーム」 施設長
(社福)聡香会 きたしば保育園 園長

村井 祐一
野村 博之
前田 智孝

(社福)正夢の会 パサー・ジュいなぎ
(社福)葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進係 係長
(NPO)VCAS 代表

横塚 健
石川 克巳
田丸 精彦

*臨時委員

(社福)世田谷ボランティア協会 ボランティア・市民活動推進部
(社福)大三島育徳会 特別養護老人ホーム「博水の郷」 副施設長・地域公益活動室長
(社福)大三島育徳会 特別養護老人ホーム「博水の郷」 介護課 課長代理

鈴木 佑輔
坂井 祐
山本 伸秀

<事務局>

東京都社会福祉協議会 総務部企画担当
*オブザーバー：東京都福祉人材センター人材対策推進室
東京ボランティア・市民活動センター



〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1
電話 03-3268-7171 FAX 03-3268-7433
ホームページ <https://www.tcsw.tvac.or.jp>

発行日 令和3年3月 初版
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会



本書は、社会福祉法人東京都共同募金会の配分金により作成いたしました。